



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長

(氏名) 田代 芳孝

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	41,783	△10.2	1,038	△52.4	1,130	△49.2	727	△46.4
24年3月期第1四半期	46,504	△0.6	2,182	45.5	2,226	49.3	1,358	51.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,028百万円 (△31.9%) 24年3月期第1四半期 1,509百万円 (49.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	26.39	—
24年3月期第1四半期	48.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	59,729	41,705	69.8
24年3月期	61,363	41,138	67.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 41,705百万円 24年3月期 41,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,000	△6.7	2,800	△29.7	2,900	△27.2	1,760	△28.6	64.01
通期	195,000	3.9	7,000	2.4	7,200	2.4	4,420	5.1	160.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	28,908,581 株	24年3月期	28,908,581 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,416,899 株	24年3月期	1,302,477 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	27,576,525 株	24年3月期1Q	28,100,868 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項 .....	P. 4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3.	四半期連結財務諸表 .....	P. 5
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
	(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 10
	(5) セグメント情報 .....	P. 10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ状況からの脱却が期待される中、欧州政府債務危機が継続し、世界景気に減速感が広がるなど、依然として厳しい状況が続いています。

このような経済状況の下、当社グループの各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

貴金属部門では、タイの洪水被害からの立ち直りに加え、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産の持ち直しの傾向がみられるものの、当社グループの貴金属化成品や電子材料等の販売および貴金属原材料回収は前年同四半期を下回る水準で推移しており、貴金属価格も金を除き前年同四半期水準を下回っていることから、貴金属部門の売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

環境部門においても、震災により一時的な排出量の増加となった前年同四半期に比べ、取扱量が減少し、写真感材回収の銀価格の下落もあり、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は30,579百万円（前年同四半期比14.3%減）、営業利益857百万円（同52.4%減）となりました。

#### 食品関連事業

食品関連事業では、デフレ状況下で消費者の低価格志向が強まる厳しい事業環境が続いています。この中で、すりみなどの水産品は販売数量が増加し、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。卵、畜肉などの畜産品は単価が下落し販売数量も伸び悩んだため売上高が減少し、野菜などの農産品も単価、数量ともに前年同四半期を下回り売上高が減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は11,219百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益180百万円（同52.6%減）となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高41,783百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益1,038百万円（同52.4%減）、経常利益1,130百万円（同49.2%減）、四半期純利益727百万円（同46.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,633百万円減少し、59,729百万円となりました。これは主として売上債権・有形固定資産の増加を上回る現金及び預金の減少によるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,200百万円減少し、18,023百万円となりました。これは主として仕入債務・借入債務の減少と未払法人税等の支払によるものです。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ566百万円増加し、41,705百万円となりました。これは主として当第1四半期連結累計期間の利益等による株主資本の増加によるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,582百万円減少し6,366百万円となりました。

##### (営業活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は1,763百万円となりました。これ

は主に税金等調整前四半期純利益の増加とそれに伴う法人税等の支払額および仕入債務の減少の差引によるものです。尚、前年同四半期の285百万円の増加に比べ2,049百万円減少しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は1,120百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。尚、前年同四半期の195百万円の支出に比べ924百万円増加しました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は821百万円となりました。これは主に配当金の支払と短期及び長期借入金の減少によるものです。尚、前年同四半期の457百万円の支出に比べ363百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、前回発表時(平成24年5月14日)の業績見通しを変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,952	6,370
受取手形及び売掛金	19,534	19,945
商品及び製品	7,015	7,186
仕掛品	230	207
原材料及び貯蔵品	5,996	6,120
繰延税金資産	622	385
未収入金	1,219	1,316
その他	1,159	1,538
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	45,713	43,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,662	5,721
減価償却累計額	△3,256	△3,336
建物及び構築物(純額)	2,405	2,385
機械装置及び運搬具	4,576	4,638
減価償却累計額	△3,666	△3,744
機械装置及び運搬具(純額)	909	894
土地	7,540	7,586
リース資産	360	362
減価償却累計額	△233	△251
リース資産(純額)	127	111
建設仮勘定	287	1,129
その他	815	865
減価償却累計額	△516	△538
その他(純額)	299	327
有形固定資産合計	11,569	12,435
無形固定資産		
その他	622	575
無形固定資産合計	622	575
投資その他の資産		
投資有価証券	2,180	2,278
繰延税金資産	203	284
その他	1,272	1,380
貸倒引当金	△199	△278
投資その他の資産合計	3,457	3,663
固定資産合計	15,649	16,674
資産合計	61,363	59,729

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,820	8,391
短期借入金	1,015	856
1年内返済予定の長期借入金	718	739
リース債務	64	59
未払法人税等	1,589	302
賞与引当金	624	364
未払金	1,239	1,245
その他	2,913	3,021
流動負債合計	16,985	14,981
固定負債		
長期借入金	2,409	2,214
リース債務	63	51
退職給付引当金	252	250
役員退職慰労引当金	494	505
その他	18	20
固定負債合計	3,238	3,042
負債合計	20,224	18,023
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	35,417	35,814
自己株式	△1,401	△1,532
株主資本合計	41,584	41,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	93
繰延ヘッジ損益	8	75
為替換算調整勘定	△583	△314
その他の包括利益累計額合計	△445	△144
純資産合計	41,138	41,705
負債純資産合計	61,363	59,729

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	46,504	41,783
売上原価	41,522	37,659
売上総利益	4,982	4,123
販売費及び一般管理費	2,799	3,085
営業利益	2,182	1,038
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
持分法による投資利益	148	175
仕入割引	8	7
受取家賃	15	15
その他	10	17
営業外収益合計	191	223
営業外費用		
支払利息	12	18
為替差損	109	79
貸貸収入原価	13	19
その他	12	15
営業外費用合計	147	132
経常利益	2,226	1,130
税金等調整前四半期純利益	2,226	1,130
法人税、住民税及び事業税	617	266
法人税等調整額	250	135
法人税等合計	868	402
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358	727
四半期純利益	1,358	727

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358	727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△35
繰延ヘッジ損益	77	67
為替換算調整勘定	68	231
持分法適用会社に対する持分相当額	9	37
その他の包括利益合計	151	300
四半期包括利益	1,509	1,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,509	1,028
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,226	1,130
減価償却費及びその他の償却費	269	272
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△64	80
賞与引当金の増減額(△は減少)	△234	△259
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	10
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払利息	12	18
持分法による投資損益(△は益)	△148	△175
売上債権の増減額(△は増加)	532	△391
未収入金の増減額(△は増加)	△23	△106
たな卸資産の増減額(△は増加)	△650	△128
仕入債務の増減額(△は減少)	△940	△509
未払金の増減額(△は減少)	4	216
その他	569	△570
小計	1,546	△424
利息及び配当金の受取額	8	67
利息の支払額	△14	△18
法人税等の支払額	△1,254	△1,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	△1,763
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△267	△1,094
有形固定資産の売却による収入	68	6
無形固定資産の取得による支出	△0	△38
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	5	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195	△1,120
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	268	△167
長期借入金の返済による支出	△274	△174
自己株式の取得による支出	△93	△130
配当金の支払額	△337	△331
その他	△20	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△457	△821
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△329	△3,582
現金及び現金同等物の期首残高	6,605	9,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,275	6,366

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,701	10,803	46,504	—	46,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	16	17	△ 17	—
計	35,702	10,819	46,521	△ 17	46,504
セグメント利益	1,801	381	2,182	—	2,182

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,578	11,205	41,783	—	41,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	13	15	△ 15	—
計	30,579	11,219	41,798	△ 15	41,783
セグメント利益	857	180	1,038	—	1,038

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。